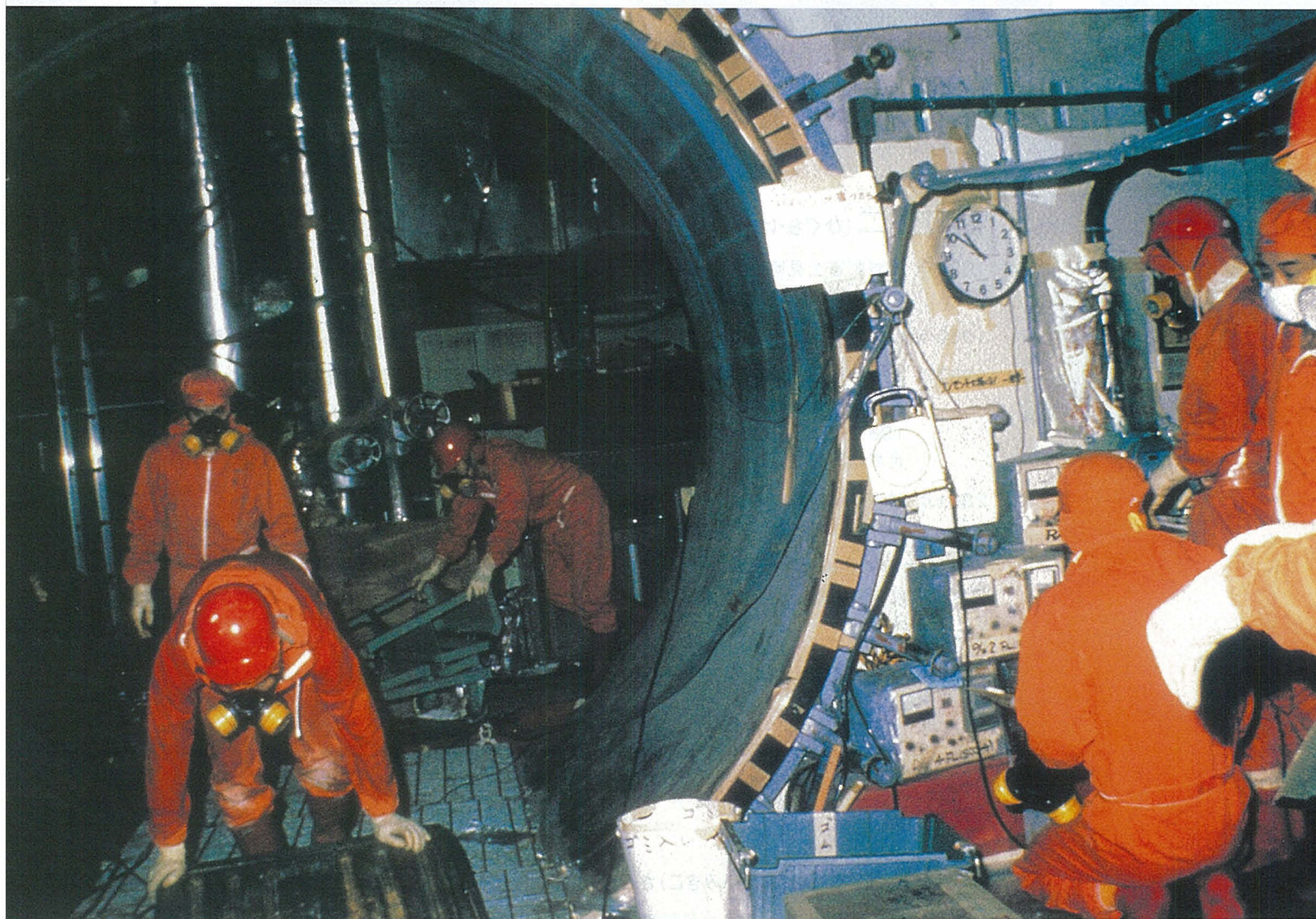


樋口健二写真展

原発被曝労働者を追って——その実態と救済を求めて



炉心部入口の人海戦術要員

写真展

「原発被曝労働者を追って」
樋口健二写真展

【日程】 2010年10月26日(火)～31日(日)
9:00～21:30
(ただし26日は13:00から、31日は17:00まで)

【会場】 エル・パーク仙台 展示ギャラリー(三越仙台5F)

入場無料

講演会

「原発被曝労働者を追って」
——その実態と救済を求めて」

樋口健二さん(写真家)
渡辺美紀子さん(原子力資料情報室)

【日程】 2010年10月30日(土) 18:30～21:00

【会場】 東京エレクトロンホール宮城(県民会館)401会議室

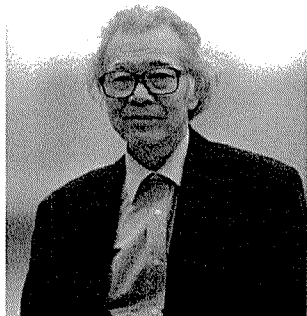
参加費:500円

樋口健二写真展

原発被曝労働者を追って—その実態と救済を求めて



プロフィール



樋口健二(ひぐち・けんじ)さん

1937年 長野県富士見町生まれ。東京総合写真専門学校卒業後、同校助手を経てフリーのフォトジャーナリストとなる。

1960年代から四日市公害を皮切りに、高度成長のかけで苦しむ人々の姿を一貫して追いつける。

1987年 ニューヨークでの第1回核被害者世界大会で日本の原発被曝実態を報告。スリーマイル島取材。

1987~88年 写真展『原発』『四日市』を台湾各地で開催。

世界核写真家ギルド展に『原発』を出展。ベルリン・モントリオール・トロント他で開催。

2001年 核廃絶NGO『ワールド・ウラニウム・ヒアリング』(本部・ドイツ)創設の『核のない未来賞』の教育部門賞を日本人として初受賞。

現在、日本写真芸術専門学校副校長。日本ジャーナリスト専門学校写真科客員講師。日本写真家協会会員。世界核写真家ギルド会員。

写真集

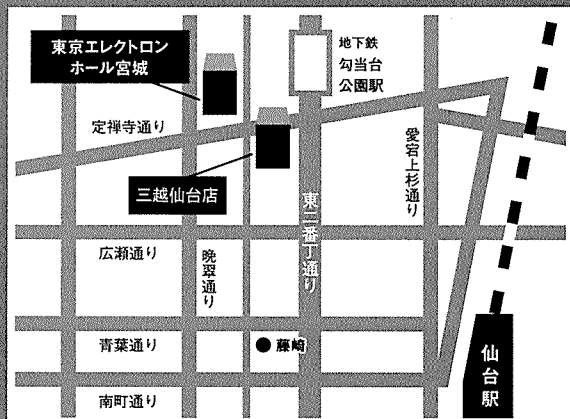
『四日市』『原発』『毒ガス島』『山よるけ』『樋口健二報道写真集成 日本列島 '66~'05』他

著書

『闇に消される原発被曝者』『売れない写真家になるには』『原発被曝列島』『原発と闘う、岩佐被曝裁判の記録』『アジアの原発と被曝労働者』『日本破壊列島』『環境破壊の衝撃 1966~2007』他

渡辺美紀子(わたなべ・みきこ)さん

認定特定非営利活動法人・原子力資料情報室のスタッフ。被曝問題を担当している。一貫して原発での被曝労働者の問題を追いつけており、その救済に力を注いでいる。



会場のご案内

写真展会場

エルパーク仙台展示ギャラリー
(三越仙台店 旧141ビル 5F)

〒980-8555

仙台市青葉区一番町四丁目11-1

TEL.022(268)8300

FAX.022(268)8304

アクセス

地下鉄勾当台公園駅より徒歩1分

JR仙台駅よりタクシーで10分

講演会会場

東京エレクトロンホール宮城
(宮城県民会館)401会議室

〒980-0803

仙台市青葉区国分町3-3-7

TEL.022(225)8641

FAX.022(223)8728

アクセス

地下鉄勾当台公園駅より徒歩3分

JR仙台駅よりタクシーで10分